

APCS (アジア太平洋都市サミット) 通信 2011年2月 第9号

アジア太平洋都市サミット: Asian Pacific City Summit (APCS) は、1994年に福岡市の提唱によって設立された国際都市ネットワークです。「アジア太平洋の都市の連携とネットワークの構築」を目指し、1994年から隔年でアジア太平洋地域の首長が一堂に会す国際会議を開催しており、現在の会員都市は13か国29都市です。

2011, VOL-9 のコンテンツ

I. 鹿児島市(日本)で8月18日(木)~20日(土)に実務者会議を開催

今年の実務者会議の開催が8月18~20日に決定。皆様お待ちかねの其調講演者、会議プログラムや気になるホスティティ鹿児島市についてご紹介します。

II. 会員都市の「これイね！」な施策 熊本市がユニークな「一口城主制度」で熊本城を復元！総額16億円を集める

事務局が訪問して収集した「会員都市のイね！」な施策は、熊本市のユニークな「一口城主制度」です。総額16億円(約1950万米ドル)もの寄付金を集めた制度とは。

III. Hot Research 世界の都市ランキング

都市ランキングが空前のブーム、というよりも、都市ブランディングのツールと化してきています！今回は、日本の都市もランクインしている世界の主要なランキングを紹介します。

FUKUOKA通信

ラテン音楽家ゲーラさんが福岡を歌った曲がラテングラミー賞を獲得

I. 鹿児島市(日本)で8月18日(木)~20日(土)に実務者会議開催



鹿児島市のシンボル桜島を望む鹿児島市風景。活火山のある世界的にも数少ない大都市



世界でも珍しい火山噴出物を活用した緑化事業。路面電車の軌道敷緑化は、マイナス18度の路面温度低下効果あり！

アジア太平洋都市サミットは、隔年で市長会議を実施しており、市長会議のない年は実務者会議を開催しています。2011年は実務者会議開催の年で、第9回アジア太平洋都市サミット実務者会議を8月18日(木)~20日(土)に鹿児島市(日本)で開催します。

このたび、今回のホスティティとなる鹿児島市が、基調講演者と会議プログラムを決定しました。(次頁参照)

鹿児島市は日本の南部、九州地方の南端部にあり、薩摩半島の一部と桜島を市域とする、年間約900万人の観光客が訪れる観光都市です。中心部の対岸(直線距離約4km)に位置する桜島は、現在もなお活発な火山活動を続けており、鹿児島市は活火山のある世界的にも数少ない大都市です。

また、鹿児島市は19世紀中頃の江戸時代からヨーロッパの機械文明を取り入れた研究を進めるなど、日本の近代工業化の発祥の地であり、現在の日本の礎ともいえる都市です。

近年は環境問題に積極的に取り組み、2008年には「かごしま環境都市宣言」として、自然環境を保全し、未来へつないでいく持続可能なまちを築いていくことを宣言し、環境を重視した都市政策を展開しています。市民がリユース

やりサイクルなどの環境を配慮した行動を起こせるように、拠点施設として「かごしま環境未来館」をオープンするなど環境教育に力を入れるほか、緑化事業として路面電車の軌道敷の緑化など、先進的な事業に取り組んでいます。

また、新幹線による高速鉄道網の整備が日本国内で進められる中、3月12日には、鹿児島市と北九州市、福岡市、熊本市を結ぶ九州新幹線が開通します。

これにより、都市間の移動時間は大幅に短縮され、例えば、鹿児島市と福岡市間は約2時間かかっていたのが、開通後は約1時間と約半分の時間に短縮されます。

国内ではこの九州新幹線が開通することにより、九州最南端の鹿児島に本州最北端の青森県から新幹線が直結することになり、約2000キロが新幹線でつながります。今回の新幹線開通は、画期的な交通アクセス向上による「都市間の距離の大幅接近」となり、今後ますます都市間連携の重要性が増していくものと思われます。

鹿児島市のサイト <http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

3月12日に九州新幹線が開通！
 日本列島約2000キロが新幹線で直結！！



【事務局より】鹿児島実務者会議のテーマについて、事務局からの会員都市アンケートを1月から実施しており、2月15日が期限となっています。皆様からのご回答をお待ちしています。

第9回 アジア太平洋都市サミット実務者会議	
■全体テーマ 持続的発展を目指した環境への取り組み	
1日目(各都市移動、歓迎レセプション) 8月18日(木)	
夜: 歓迎レセプション	
2日目(基調講演、本会議、ディスカッションなど) 8月19日(金)	
1) 基調講演 国連環境計画 金融イニシアチブ特別顧問 末吉 竹二郎 氏 (鹿児島市環境アドバイザー)	
2) 参加都市の発表 昼: 交流昼食会	
3) 参加都市の発表	
4) ディスカッション	
5) 閉会式(次期開催都市の挨拶他)	
夜: 送別交流会	
3日目(市内視察など) 8月20日(土)	
1) 市内視察等 テーマに沿った本市での取り組み、市内視察	
2) 日本有数の花火大会「錦江湾サマーナイト花火大会」の鑑賞	

II. 熊本市が一口城主制度で熊本城復元！総額16億円（1950万米ドル）を集める！！



勇壮な熊本城は熊本市のシンボル



復元された本丸御殿は豪華絢爛！



一口城主の証、城主証は伝統的な日本のデザイン



天守閣にズラリと並ぶ芳名板には6万を超える名前

熊本市は九州のほぼ中央に位置し、熊本城をはじめとした歴史遺産や伝統文化と官公庁や高等教育機関などの都市機能がマッチした都市です。約400年前に市中心部に築造された熊本城は広さ約100万㎡を誇る、日本で最も有名な城の一つとされ、現在も都市のシンボルです。熊本市は城を中心とした城下町として発展してきました。

しかし、熊本城は近年は内戦等で大半が焼失し、熊本市は復元事業に力をいれてきました。現在までに事業費89億円（約10,854万米ドル）をかけ、一部は完了しましたが、現在も復元工事は継続しています。

この工事に、熊本市はユニークな「一口城主」という市民からの寄付金制度を1998年から創設し、活用しています。

一口城主制度は、1万円（約120米ドル）以上の寄付をした人を「一口城主」とし、その証として「城主証」を発行し、熊本城天守閣に名前を記載した「芳名板」を掲示するものです。「城主」として、熊本城の中に永久に名前が納められるというもので、大変な話題となり、国内だけでなく、海外からも寄付希望者が殺到し、現在までに延べ6万人を超える人から、なんと総額で16億円（1,950万米ドル）を超える寄付が集まっています。

このユニークな制度の結果、「復元された熊本城ブーム」がおき、2008年には城下日本一の入場者となる200万人を超える観光客が熊本城を訪れました。

2009年からは、市内の観光、小売業などの事業者が協力して、一口城主を歓迎する「一口城主手形」を発行しています。城主手形では、店舗での食事やショッピング、公共施設入園料の割引等の優待が受けられます。

一口城主になると、お城見物とショッピングなどの観光を合わせて楽しめると大変好評で、城主希望者は今も増加し続けており、熊本市は文化財の復元と観光振興を合わせた新たな都市戦略の手段としています。

熊本城のサイト：<http://www.manyou-kumamoto.jp/castle/>

熊本市のサイト：<http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/>

Ⅲ. Hot Research 世界の都市ランキング

都市地域の競争力強化に取り組むために、都市地域のパフォーマンスや魅力を評価する基準の開発が盛んになり、さまざまな国際的なランキングが発表されています。

近年の傾向としては、経済指標だけでなく、包括的な基準を設定し、経済発展、生活の質の両面と、さらに環境保全を加えた持続可能性のバランスの評価や知的資本・人的資本に注目したもの等、各地域の個性的な都市戦略の展開に呼応する形で、多様なランキングが見られるようになってきていることです。

世界には日本の都市が含まれていないユニークなランキングが沢山存在し、そして開発されています。自分の都市の優位性を証明するために、地域の大学や研究機関と連携して、新規ランキング開発に取り組む都市も増えてきています。しばらくランキング戦略から目が離せません。あなたの都市はランクインしていますか？

表1 主な国際的な都市地域ランキング

実施機関と名称・実施年	ランキングの特徴と 主な指標や評価基準	対象都市数と 日本の対象都市名
① モノクル(イギリスの雑誌) Top 25 Most Liveable Cities 世界の住みやすい都市上位25 (2008年、2009年、2010年)	住みやすさ(QOL) 公共交通機関の整備 安全性 医療 教育 住宅 映画館やバーの数	25都市 東京 4位 福岡 14位 京都 23位
② 森記念財団 都市戦略研究所 Global Power City Index 世界の総合都市力ランキング (2008年、2009年、2010年)	分野別・アクター別の都市の総合力 6つの分野 69の指標 5種類のアクターニーズ	主要35都市 東京 4位 大阪 19位 福岡 28位
③ 中国社会科学院 Global Urban Competitiveness Report 世界の都市競争力レポート (2008年、2009年、2010年)	経済成長力とビジネスの国際競争力 グリーン経済GDP(合計、対人口・対面積) 経済成長率 国際特許申請数 多国籍企業指数 環境要素 都市機能	500都市 札幌 仙台 東京 川崎 横浜 名古屋 京都 大阪 神戸 など
④ フォーリンポリシー(米国の雑誌) The Global Cities Index 都市の国際度ランキング (2010年)	ビジネスや文化の国際的な影響度 ビジネス活動 人的資本 情報の国際度 金融市場や文化への国際的な影響力	65都市 東京 3位 大阪 47位
プライスウォーターハウスクーパース Cities of Opportunity 世界の都市力比較 (2010年)	知識ベースを重視した都市競争力 10の領域で58の指数	主要21都市 東京
プライスウォーターハウスクーパース 世界の都市GDPランキング (2008年)	GDPによる経済力 2008年のGDP 2025年のGDP予測	100都市 東京(関東圏) 1位 大阪/神戸 7位 福岡 73位
マスターカード・ワールドワイド Worldwide Centers of Commerce Index 世界のビジネスセンター指標 (2007年、2008年)	ビジネスセンターとしての都市の魅力 法律・政治上の枠組み(10%) 経済安定性(10%) ビジネスのしやすさ(20%) 金融(22%) ビジネスセンター度(12%) 知的財産・情報(16%) 住みやすさ(10%)	75都市 東京 3位 大阪 19位

資料: 国際知識経済都市会議実行委員会・(財)福岡アジア都市研究所「福岡地域における知識創造と知識経済に関する基礎調査研究報告」2010年10月に加筆加工したもの、DL: <http://www.urc.or.jp/jigyou/jutaken/documents/jyutaku22.1.pdf>

表2 表1掲載①②③④ランキングの動向

★IRBC 会員地域 ☆IRBC オブザーバー地域	①モノクル		②GPC	③GUCI	④GCI
	2010年	2009年	2010年	2010年	2010年
★ ミュンヘン(ドイツ)	1位 ↑	4位	—		33位
コペンハーゲン(デンマーク)	2位 ←	2位	17位		37位
チューリッヒ(スイス)	3位 ↓	1位	12位		24位
東京(日本)	4位 ↓	3位	4位	3位	3位
★ ヘルシンキ(フィンランド)	5位 ←	5位	—		
★ ストックホルム(スウェーデン)	6位 ←	6位	—		23位
パリ(フランス)	7位 ↑	8位	3位	4位	4位
ウィーン(オーストリア)	8位 ↓	7位	11位		18位
★ メルボルン(オーストラリア)	9位 ←	9位	—		
マドリッド(スペイン)	10位 ↑	12位	15位		17位
ベルリン(ドイツ)	11位 ↓	10位	5位		16位
シドニー(オーストラリア)	12位 ↑	13位	14位		9位
ホノルル(アメリカハワイ)	13位 ↓	11位	—		
★ 福岡(日本)	14位 ↑	16位	28位		
ジュネーブ(スイス)	15位 ↑	24位	18位		32位
★ バンクーバー(カナダ)	16位 ↓	14位	16位		
★ バルセロナ(スペイン)	17位 ↓	15位	—		26位
オスロ(ノルウェー)	18位 ↓	17位	—		
モントリオール(カナダ)	19位 ←	19位	—		
オークランド(ニュージーランド)	20位 ←	20位	—		
☆ シンガポール(シンガポール)	21位 ↓	18位	5位	8位	8位
ポートランド(アメリカ)	22位 ↑	—	—		
京都(日本)	23位 ↓	22位	—		
ハンブルグ(ドイツ)	24位 ↓	23位	—		
リスボン(ポルトガル)	25位 ←	25位	—		
アムステルダム	—	21位	7位		29位
★ シアトル(アメリカ)	—	—	—	13位	
★ ダブリン(アイルランド)	—	—	—	15位	27位
大田(韓国)	—	—	—		
ソウル(韓国)			8位	9位	10位
上海(中国)			26位	37位	

【リストされた都市について】

主要ランキング掲載都市および、福岡が参加する IRBC(国際地域ベンチマーク協議会)の参加都市を掲載

【ランキングの概要と評価基準】

①英国の雑誌モノクル:世界で最も住みやすい都市ベスト 25

- ・ 「公共交通機関の整備」「安全性」「医療」「教育」「中小企業との関係性」「他地域とのつながり」などの指標で評価

②日本の森記念財団:Global Power City Index(GPC)35都市の総合力

- ・ 世界の主要 35都市を「経済」「研究・開発」「文化・交流」「居住」「環境」「交通アクセス」における 69の指標で評価

③中国の社会科学院:Global Urban Competitiveness Index(GUCI)500都市の上位 20都市

- ・ 世界の 500都市を「グリーン経済 GDP」「経済成長率」「国際特許申請数」「国際企業指数」などの指標で評価

④米国の雑誌フォーリンポリシー:The Global Cities Index(GCI)65都市

- ・ 人口規模や経済規模、グローバル大企業の本社数、金融市場や文化への国際的な影響力、人的資源などで評価

資料:国際知識経済都市会議実行委員会・(財)福岡アジア都市研究所「福岡地域における知識創造と知識経済に関する基礎調査研究報告」報告会資料, 2010年

◇ FUKUOKA 通信 ◇ ラテン音楽家ゲーラさんが福岡を歌った曲がラテングラミー賞を獲得



2009年の福岡でのゲーラさんのステージ
(cTiempo Iberoamericano)

ラテン音楽界では知らない人はいないと言われるドミニカ共和国の人気歌手ファン・ルイス・ゲーラさん(53歳)が、2009年、初めて日本を訪れました。そして、初めてコンサートをした「福岡」に心打たれ、作詞作曲した歌が「バチャータ・エン・フクオカ (Bachata En Fukuoka=福岡でバチャータを歌う)」です。昨年11月11日にこの曲がラテン音楽の最高峰「ラテングラミー賞最優秀トロピカル賞」を受賞しました。

バチャータとは、ゆっくりとしたリズムのドミニカ共和国発祥の伝統音楽。バチャータ・エン・フクオカは福岡から恋人を思う、まっすぐでやさしいラブソング。ゲーラさんは百道浜の海岸を「リラックスした雰囲気でもとてもきれい」、福岡のまちは「ゆっくり時間が流れている」ととても気に入り、初めて土地の名前を自身の曲に残してくれました。

福岡で教わった日本語「コンニチハ」「アリガトウゴザイマス」などが歌詞で歌われ、何度も登場する「フクオカ」という言葉から、ゲーラさんの福岡への愛情が伝わってきます。

ゲーラさんは前々からアジア、特に日本へ行ってみたいという希望があり、その希望が福岡市のNPO法人「ティエンポ・イベロアメリカノ」が夏に開催しているミュージックフェスティバル「イスラ・デ・サルサ」に出演する形で実現しました。フェスティバルは2009年に約3000人を前にし、大成功に終わりました。

ティエンポ・イベロアメリカノは10年前から、福岡にラテン文化を浸透させようと毎年夏に「イスラ・デ・サルサ」を開催しており、事務局の橋高ちひろさんは「これからも福岡でラテン

文化との出会いと感動の場を作っていきたい」と話していました。

ファン・ルイス・ゲーラさんのサイト：<http://www.juanluisguerra.com/>

ファン・ルイス・ゲーラさんの音楽サイト：<http://www.youtube.com/juanluisguerra>

NPO法人ティエンポ・イベロアメリカノのサイト：<http://www.tiempo.jp/>

◇ 事務局だより ◇

見られるのは年に数回！福岡の雪景色



福岡は日本の南、九州地方に位置していますが、冬は季節風の影響で雪が降る日もあり、ときには積もることもあります。毎年、12月半ば頃に初雪が降り、その後も一年間に数回、雪景色が見られます。

今年の冬は例年になく寒い、34年ぶりの寒さとなり、1月は平均気温が3.8℃(平年比-2.5℃)で、最高気温が1カ月間一度も10℃に届かない、観測史上初めての月となりました。雪も例年より多く、積もる日も多かったです。

真っ白な雪化粧をした都心は、清らかな静けさに包まれ、いつも見慣れているはずの場所も落ち着いた風景に見えます。雪化粧をした福岡も是非皆様にお見せしたい姿です。

★ APCS 通信に掲載する会員都市の皆様からの様々な情報を募集しています！お気軽に情報をお寄せください！

- ・ 都市の話題に関するもの(お祭り・イベント・主要な出来事など)
- ・ 都市政策に関するもの(総合計画策定・主要な計画の策定・主要な事業の開始・主要な交通インフラ開業など)

アジア太平洋都市サミット (APCS) 会員都市

●海外(20 都市)オークランド市(ニュージーランド),バンコク市(タイ王国),ブリスベン市(オーストラリア),釜山広域市(大韓民国),大連市(中華人民共和国),広州市(中華人民共和国),光陽市(大韓民国),ホーチミン市(ベトナム社会主義共和国),香港特別行政区政府(中華人民共和国),ホノルル市(アメリカ合衆国),イポー市(マレーシア),ジャカルタ特別市(インドネシア共和国),済州特別自治道(大韓民国),クアラルンプール市(マレーシア),マニラ市(フィリピン共和国),浦項市(大韓民国),上海市(中華人民共和国),シンガポール,ウルムチ市(中華人民共和国),ウラジオストク市(ロシア連邦)

●日本国内(9 都市)鹿児島市,北九州市,熊本市,宮崎市,長崎市,那覇市,大分市,佐賀市,福岡市

【編集・発行】 アジア太平洋都市サミット事務局

(財)福岡アジア都市研究所

市場留美 山下永子 大関麻里子

〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1

福岡市役所北別館6階

電話:092-733-5687

FAX:092-733-5680

<http://www.urc.or.jp/summit/index.php>

E-mail: ichiba@urc.or.jp ozeki@urc.or.jp

2011年2月